



## 第14回敦賀港サロン懇談会を開催しました！

平成25年10月16日（水）、敦賀に関連する日本海沿岸地域の郷土史を調査研究している市民グループ「日本海地誌調査研究会」と当事務所が、敦賀港について意見交換をする「サロン懇談会」を敦賀市内で開催しました。同懇談会は、行政や港湾関係者だけでなく、様々な分野の方々の意見を敦賀港の整備に活かしていくため、平成12年から毎年開催し、今回で14回目となりました。

始めに、敦賀港湾事務所松本所長から「敦賀に精通した日本海地誌調査研究会の皆様と情報交換・知識の共有ができることを嬉しく思います。」と開会の挨拶があり、続いて日本海地誌調査研究会の繁田会長から「台風の影響で少人数になりましたが、そのぶん深い話し合いができれば幸いです」と挨拶がありました。

その後、当事務所の廣木企画調整課長から「北陸管内港湾及び敦賀港の現状と最近の話題」、山下企画調整係長から「クルーズ振興の現状」の二つの情報提供を行いました。

意見交換では、「鞠山南地区の2期バースができれば、より大きな客船が寄港するのではないか」、「敦賀港をもっとアピールし客船誘致を行った方がよい」、「松原海岸の侵食している理由は何か」など様々な意見や質問が出され、活発な意見交換の場となり、敦賀港の取り組みが市民から注目されていることが伺えました。

敦賀港の発展のためには、地域の方々と議論し、地域に根付いた取り組みをすることが重要であると感じさせられる有意義な懇談会となりました。



松本所長からの挨拶



繁田会長からの挨拶



会場全体の様子 1



会場全体の様子 2